

内水面支場 News !

コクチバス（特定外来生物） の産卵床を久慈川で多数確認

個体数増加、在来生物への食害が懸念



写真1 コクチバスの産卵床と保護する雄親



写真2 産卵床に産み付けられた卵



写真3 観察者を警戒し産卵床からこちらを伺う雄親



写真4（参考）令和2年度に確認した仔魚

令和3年4月23日、久慈川にてコクチバスの産卵床を多数確認しました。本種は雄が卵と孵化した仔魚を守る習性があり、繁殖力が非常に強いことが知られています。水産試験場内水面支場では昨年、同じ地点で仔魚を確認しましたが、産卵床および卵を今回初めて確認し、確実に繁殖してしまっていることが明らかとなりました。

コクチバスは流水環境にも生息できる魚食性の強い外来種で、外来生物法により特定外来生物として指定され、放流や飼育が禁止されています。県内においてもアユなどの在来種への食害が懸念されるため、当场では久慈川漁業協同組合と協力し、調査・駆除活動を進めてまいります。

（内水面資源部 外山 太一郎）